資料３

新型コロナウィルスへの対応状況

１　生涯学習部で所管する施設

（１）生涯学習センター　　（指定管理者：千葉市教育振興財団）
（２）公民館　　（指定管理者：千葉市教育振興財団）
（３）科学館　　（指定管理者：ｺﾝｸﾞﾚ・東急ｺﾐｭﾆﾃｨｰ共同体）
（４）南部青少年センター　　（直営）
（５）加曽利貝塚博物館　　（直営）
（６）郷土博物館　　（直営）
（７）埋蔵文化財調査センター（直営）
（８）図書館　　（直営）

２　新型コロナウィルスへの対応

（１）１回目の緊急事態宣言の時期　　（期間：令和２年４月７日から５月２５日まで）

４月　４日～４月　５日　全館休館
４月　６日～４月　７日　１８時以降の夜間休館
４月　８日～５月２６日　全館休館　※主催事業は７月から再開
※図書館は５月３１日まで、科学館は６月１４日まで休館
※博物館は３月３日から５月２５日まで休館

（２）２回目の緊急事態宣言の時期　　（期間：令和３年１月８日から３月７日まで）

１２月２６日～１月１１日　主催事業の休止、予約不要のイベントの休止、
新規の施設予約の停止
１月　８日～３月中旬　　１８時をまたぐ夜間コマの休止

（３）その他

ア　感染拡大防止対策の徹底

（ア）「三つの密（密閉、密集、密接）」を避けるための対策
・換気の励行（密閉空間の回避）
・利用人数の制限（密集場所の回避）
・近距離での会話や発声などを避ける（密接場面の回避）

（イ）利用者の安全確保
・利用前、利用後の手洗い等の励行
・マスク着用等の咳エチケットの注意喚起

（ウ）施設管理
・諸室利用後の消毒や清掃の徹底
・ドアノブ、トイレなど人が触れる場所のこまめな消毒

イ　広報
・ホームページなどで施設の最新情報を発信
・コロナ週報（直近一週間の状況や病床の状況などの情報を掲載）の掲示

３　施設運営への影響　（R3.1.31 時点）

（１）生涯学習センター

・休止・中止した事業：　　２２７事業

・入館者数：　　１６３，１６３人（前年比△５０％）

・施設利用率：　　４２％（前年比△２０％）

・オンライン講座の実施：　２０講座

※コロナ禍でも市民へ生涯学習の機会を継続して提供するため、新たにオンライン講座を実施した。

（例）就職支援セミナー、思春期講座、郷土の食体験教室
公民館職員研修　など

（２）公民館

・休止・中止した事業：　　４９７事業

・入館者数：　　３７９，７４２人（前年比△５６％）

・オンライン講座の実施：　２講座

・１回目の緊急事態宣言時の学校休校中から、予約の入っていない諸室を自習室として子どもたちへ開放

（３）科学館

・休止・中止した事業：　　３３事業

・入館者数：　　１２６，９３２人（前年比△６６％）

・オンライン講座の実施

・科学館の展示を知ることができる「科学館バーチャルツアー」を動画配信

・様々な実験や科学トピックスを学べる「おうちでサイエンス」を動画にて拡充

・学校単位での来館が減少したため、学校へ科学館職員を派遣しての出前講座を実施
（例）おもしろ教室、サイエンスショー　など

（４）南部青少年センター

・休止・中止した事業：　　１７事業

・入館者数：　　６，８２５人（前年比△８４％）

・施設利用率：　　２１％（前年比△３３％）

・１回目の緊急事態宣言時の学校休校中から、１階ラウンジを自習コーナーとして子どもたちへ開放

・市ホームページで利用団体の活動の様子を動画配信：４団体

※中止となった利用団体の活動成果の発表会「ゆめチャレンジ」の代わりに、各団体の音楽や演劇の活動の様子を市ホームページに掲載した。

（５）加曽利貝塚博物館

・休止・中止した事業：　　９事業

・入館者数：　　約２６，０００人（前年比△６０％）

・映像コンテンツ「千葉市の不思議を学び隊！」の制作、YouTube での動画配信

※学校と博物館等との連携強化のため、校外学習の事前学習や振返り学習等での活用を目的として制作した。

（６）郷土博物館

・休止・中止した事業：　　８事業

・入館者数：　　約２１，０００人（前年比△５０％）

・映像コンテンツ「千葉市の不思議を学び隊！」の制作、YouTube での動画配信【再掲】

（７）埋蔵文化財調査センター

・休止・中止した事業：　　なし

・学校への出前授業を拡充

Ｒ元　２１校　→　Ｒ２　３０校（９校増）

・映像コンテンツ「千葉市の不思議を学び隊！」の制作、YouTube での動画配信【再掲】

（８）図書館

・休止・中止した事業：　　８８事業

・入館者数：　　１，３１３，５６８人（前年比△４０％）

・1 回目の緊急事態宣言発出に伴う休館中の５月１２日から予約本の貸出と貸出中の本の返却に限り再開